

様式 A-13、D-13、X-13（共通）【作成上の注意】

＜対応事業＞

特別推進研究（平成28年度以降に採択された研究課題）

新学術領域研究（研究領域提案型）、基盤研究、挑戦的研究、挑戦的萌芽研究、若手研究、研究活動スタート支援、特別研究促進費、国際共同研究加速基金（国際活動支援班）、特別研究員奨励費、奨励研究

研究代表者が、平成29年度以前に提出しなければならない研究成果報告書を、特段の理由（失踪又は病気・けが）があつて提出していない場合において、交付申請の留保を希望する場合に作成すること。（研究成果報告書を提出していない研究代表者からの交付申請は受け付けない。）

なお、当該年度の9月末日までに研究成果報告書を提出することが可能となる研究者のみ、本様式を作成すること。（当該年度の9月末日までに研究成果報告書を提出することができない場合については、交付申請の辞退情報を登録すること。）9月末日までに研究成果報告書の提出がなされない場合は、交付内定が取り消されることとなる。

【注意事項】

- ①用紙はA4判（横長）を使用すること。
- ②「研究種目」欄及び「課題番号」欄は、「内定一覧」を十分確認のうえ記入すること。
なお、この欄に「部局番号」や「職番号」を誤って記入しないよう注意すること。
- ③「研究成果報告書の提出予定時期（年月）」欄には、研究成果報告書を提出できない理由に基づき、現実に研究成果報告書を提出する予定の時期を記載すること。
- ④「研究開始（再開）予定年月日」欄には、「研究成果報告書の提出予定時期（年月）」より後の年月日を記入すること。
- ⑤「研究成果報告書の未提出理由」欄は、「1：失踪」又は「2：病気・けが」のうち、該当する番号を記入すること。